

# 特定患者から除外される基本料算定患者

状態等		診療報酬点数	実施の期間等
1	難病患者等入院診療加算を算定する患者	難病患者等入院診療加算	当該加算を算定している期間
2	重症者等療養環境特別加算を算定する患者	重症患者等療養環境特別加算	当該加算を算定している期間
3	重度の肢体不自由者、脊髄損傷等の重度障害者、重度の意識障害者、筋ジストロフィー患者及び難病患者等	—	左欄の状態にある期間
4	悪性新生物に対する治療を実施している状態	(省略)	左欄治療により、集中的な入院加療を要する期間
5	観血的動脈圧測定を実施している状態	(省略)	当該月において2日以上実施していること
6	リハビリテーションを実施している状態	(省略)	週3回以上実施している週が、当該月において2週以上であること
7	ドレーン法若しくは胸腔又は腹腔の洗浄を実施している状態	(省略)	当該月において2週以上実施していること
8	頻回に喀痰吸引・排出を実施している状態	(省略)	1日に8回以上実施している日が当該月において20日以上であること
9	人工呼吸器を使用している状態	(省略)	当該月において1週以上使用していること
10	人工腎臓、持続緩徐式血液濾過又は血漿交換療法を実施している状態	(省略)	
11	全身麻酔その他これに準ずる麻酔を用いる手術を実施し、当該疾病に係る治療を継続している状態	(省略)	—

特定患者除外規定適応患者のレセプトは、  
毎月何枚で診療報酬平均単価は1日いくらか、  
年間どのくらいの額となっているかを公表して  
頂きたい。

# 平均在院日数の計算対象としない患者

## (高齢者関係)

- 特殊疾患入院医療管理料
- 回復期リハビリテーション病棟入院料1及び2
- 亜急性期入院医療管理料1及び2
- 特殊疾患病棟入院料
- 緩和ケア病棟入院料
- 一般病棟に入院した日から換算して90日を越えて入院している後期高齢者であって、厚生労働大臣の定める状態等にある患者(特定患者から除かれる患者)

一般病床の平均在院日数に算定しなくてもよい  
病床もすべて入れて算定した、訂正平均在院  
日数を出して欲しい。

一般病床は、必ずしも急性期病床ではない！



まず一般病床の中の実質慢性期高齢患者を整理して、慢性期病床に包含することから始まる。



急性期病院の平均在院日数を20日から10日に短縮させるなら、それを受ける慢性期病床は2倍必要

# 医療療養病床の役割

- 救急及び高度急性期医療の継承
- 高度慢性期病床
- 亜急性期病床の療養病床への適応
- 回復期リハ病床
- 維持期慢性期病床
- 地域医療支援センター機能
- 在宅連携

# 日本慢性期医療協会(日本療養病床協会) 療養病床入院患者の状態調査 集計結果

## 介護療養型医療施設の患者状態

実施: 2008年5月

対象: 日本療養病床協会会員739病院

回答数(n)	287
--------	-----

1. 4月30日現在、介護療養病床に入院している患者の平均要介護度

	平均
平均要介護度	4.3

(※回答施設数 n=283)

# 介護療養型医療施設の患者状態

2. 4月30日現在、介護療養病床に入院している患者について、4月1ヶ月間に1日でも下記の症状となった患者の人数

	合計(人)
4月30日現在入院患者数	23,174人

(※回答施設数 n=286)

	合計(人)	現在入院患者数に占める割合(%)
① 経管栄養	8,263	35.7
② 気管切開	473	2.0
③ 喀痰吸引	4,833	20.9
④ 膀胱カテーテル	2,171	9.4
⑤ 褥瘡処置	1,419	6.1
⑥ 酸素療法	929	4.0
⑦ 疼痛管理	164	0.7
⑧ 人工透析	41	0.2
⑨ 人工肛門	179	0.8
⑩ 中心静脈栄養(IVH)	870	1.3
⑪ モニター測定(心拍・血圧・酸素飽和度)	290	3.8
⑫ ①～⑪のどれでもない	11,061	47.7

# 医療療養病床の患者状態

	医療区分1が入院患者に占める割合(%)					
	全体	15%未満	～25%未満	～35%未満	～50%未満	50%以上
4月30日現在入院患者数	27,336	7,334	5,654	5,971	5,810	2,567

・4月30日現在、**医療療養病床**に入院している患者について、4月1ヶ月間に1日でも下記の症状となった患者の割合

(複数回答)

	医療区分1が入院患者に占める割合(%)					
	全体平均	15%未満	～25%未満	～35%未満	～50%未満	50%以上
① 経管栄養	37.3	45.0	39.2	36.1	32.6	25.2
② 気管切開	10.8	17.0	10.8	8.3	7.9	6.0
③ 喀痰吸引	33.2	42.2	36.9	29.2	27.7	20.9
④ 膀胱カテーテル	16.2	19.0	16.3	16.0	14.0	14.0
⑤ 褥瘡処置	10.4	11.1	11.9	11.2	8.5	7.1
⑥ 酸素療法	15.1	20.1	16.1	12.3	12.3	11.8
⑦ 疼痛管理	1.3	1.9	1.4	1.3	0.8	1.2
⑧ 人工透析	2.5	3.5	1.5	4.2	1.2	0.5
⑨ 人工肛門	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	0.7
⑩ 中心静脈栄養(IVH)	7.5	8.0	7.5	7.9	6.3	7.8
⑪ モニター測定 (心拍・血圧・酸素飽和度)	8.2	9.5	8.8	8.0	4.4	11.7
⑫ ①～⑪のどれでもない	35.4	26.5	33.0	36.1	42.1	50.2

医療療養病床には、大変重度な患者が多く入院している。

ICUと類似化していると言える。

違いは、疾病に罹患してからの期間である。

医療療養病床は、患者の状態像によって医療区分1～3に分類される。最も状態が「軽い」と判断されている医療区分1を分類する試案を日本慢性期医療協会が作成。

## 医療区分1の分類

### 【医療区分1-5】

- ・重度意識障害(JCS100以上)
- ・癌ターミナル(余命1ヶ月)以上
- ・肝不全(腹水高度, NH<sub>4</sub>Cl120mg/dl)
- ・CKD(クレアチニン6mg/dl以上)
- ・喘息重積発作
- ・仮性球麻痺(経管栄養)
- ・喀痰吸引(7回/日以下)
- ・全麻手術後1ヶ月以内
- ・その他の感染症(CRP5以上, 顆粒球減少, ウイルス性など)
- ・胸水, 心嚢液貯留
- ・妄想、幻覚
- ・錐体外路症状(重度)
- ・認知度(M)
- ・自殺企図
- ・難治高血圧  
(治療にもかかわらず日中最高血圧180mmHg以上を呈する例)
- ・心不全(高度非代償性)
- ・SAB, AVB(Ⅲ度)SSS
- ・徐脈(40以下)RonT, af. (f波500/min以上)
- ・脱水(BUN50mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb2.5g/dl以下)
- ・Hb7g/dl以下
- ・BNP(1000以上)
- ・血糖(随時血糖200mg/dl以上, HbA1c8以上)

### 【医療区分1-4】

- ・重度意識障害(JCS30以上)
- ・肝不全(腹水高度, NH<sub>4</sub>Cl100mg/dl以上)
- ・CKD(クレアチニン4mg/dl以上)
- ・認知度(Ⅳ)
- ・脱水(BUN40mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb3g/dl以下)
- ・Hb8g/dl以下
- ・BNP(500以上)
- ・血糖(随時血糖150mg/dl以上, HbA1c7以上)

### 【医療区分1-3】

- ・意識障害(JCS20, 10)
- ・癌ターミナル(余命6ヶ月)
- ・認知度(Ⅲ)
- ・脱水(BUN30mg/dl以上)
- ・低栄養(Alb3.5g/dl以下)
- ・Hb9g/dl以下
- ・BNP(100以上)

### 【医療区分1-2】

- ・区分1-3, 1-4, 1-5, 以外でADL区分3の人

### 【医療区分1-1】

- ・区分1-3, 1-4, 1-5以外でADL区分1, 2の人